

環境会計・グリーン調達

■環境会計は環境経営のツール

当社は、環境保全活動の効率的実施と成果として環境保全効果を定量的に把握する仕組みである環境会計を、有効な環境経営のツールとしてとらえ活用しています。

環境会計の基本事項

- 集計範囲 東亜建設工業単体（国内）
- 対象期間 2007年4月～2008年3月
- 集計方法 サンプル調査（サンプル数29作業所（施工））と全数調査（オフィス）の併用

■環境保全コスト

単位：百万円（十万円以下は切り捨て）

分類	主な活動内容	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	
		※1	※1	※1	※1		割合
事業エリア内コスト ※2		—	—	—	6	3,366	84.4%
公害防止コスト ※3	作業所における公害防止対策 （大気汚染・水質汚染・土壌汚染・騒音防止・振動防止等）	—	—	—	—	2,702	67.7%
地球環境保全コスト ※3	地球温暖化防止・省エネルギー・オゾン層破壊防止対策	—	—	—	—	1	0.0%
資源循環コスト ※2	資源の効率化利用 産業・一般廃棄物のリサイクルおよび処理・処分等	—	—	—	6	663	16.7%
上下流コスト ※2	環境配慮経費・環境物品等を提供するための追加コスト	—	—	—	5	20	0.5%
管理活動コスト ※2	環境マネジメントシステム整備・運用、環境情報の開示、 環境広告、環境負荷監視、従業員への環境教育等	117	97	103	59	350	8.8%
研究開発コスト ※4		637	250	309	270	206	5.1%
社会活動コスト ※2	NGO・環境関連団体への協賛金・寄付、 地域住民の行なう環境活動に対する支援および情報提供等	—	—	—	0	33	0.8%
環境損傷対応コスト ※2	自然修復のためのコスト、緊急事態対応準備費用等	—	—	—	6	15	0.4%
合計		754	347	412	346	3,990	100.0%

※1：オフィス活動結果 ※2：サンプル調査と全数調査併用（2007年度） ※3：サンプル調査（2007年度） ※4：全数調査（2007年度）

■環境会計指数

環境会計指数	算定式	2007年度
環境コスト比率	環境保全コスト／施工高	2.9%
産業廃棄物処理コスト比率	建設廃棄物処理費／施工高	0.5%

・2007年度の環境保全コストは、39.9億円となり、環境コスト比率は2.9%となりました。

■ 環境保全効果 (オフィス活動)

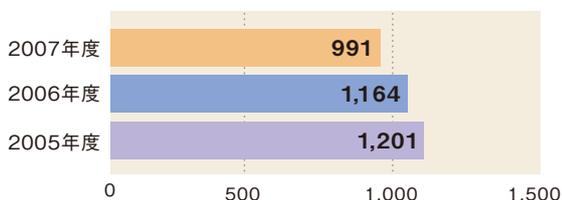
(単位以下は切り捨て)

大分類	中分類	単位	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	前年度との比較
資源	コピー用紙	万枚	1,277	1,201	1,164	991	▲173
	上水道	百m ³	124	126	120 ※1	106	▲14
	井戸水	百m ³	43	86	75	57	▲18
エネルギー	電力	万kwh	434	449	424	381	▲43
	灯油	ℓ	190	263	338	110	▲228
	重油	ℓ	5,090	10,400	0	0	0
	ガス	千m ³	53	61	51	54	3
一般廃棄物 ※2	発生量	t	203	203	213	159	▲54
	リサイクル量	t	177	178	174	118	▲56
	処分量	t	26	25	39	41	2
有害物質 ※2	蛍光灯安定器	個	843	1,009	1,041	1,041	0
	PCB コンテンサー	個	106	106	106	114	8

※1) 数値の訂正 ※2) 本社が対象

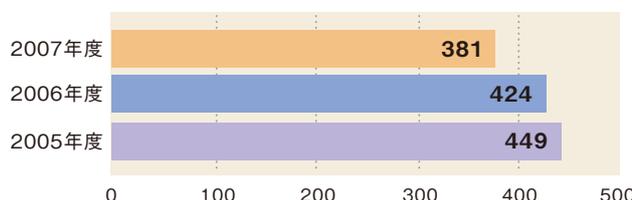
コピー用紙の使用状況 (単位: 万枚) ※枚数はA4換算

オフィス活動における2007年度コピー用紙の使用枚数は約991万枚となり、前年度と比較し、約173万枚 (約15%)の削減となりました。今後も裏紙の使用、両面コピーの実施、縮小印刷の実施、会議時のプロジェクター活用等によりコピー用紙の削減をさらに推進していきます。



電力使用量 (単位: 万kWh)

オフィス活動における2007年度電力使用量は約381万kWhとなり、前年度と比較し、約43万kWh (約10%)の削減となりました。これは二酸化炭素排出量にすると、約142t削減したことになります。今後も、昼休み時に照明の電源オフの励行、エアコンの適正温度設定等により引き続き電力使用量の低減に努めます。



■ グリーン調達を推進して、環境負荷を低減

環境方針に掲げる「継続的改善活動を通しての環境負荷の低減」の一環として、工事に関わる資材、工法、目的物および日常オフィス業務に関わる物品に関するグリーン調達の推進を図り、持続可能な循環型社会の実現に寄与することを目的として、「グリーン調達ガイドライン」を2005年6月に制定し、現状の社会情勢を見ながら定期的に見直しを行なっています (第4版 2008年5月; 改訂)。

品目	単位	数量
再生加熱アスファルト混合物	千t	22
再生骨材等	百万円	34
再生砕石	千t	537
再生土砂	千m ³	931
再生鉄筋	百万円	2,887
高炉セメント	百万円	221
高炉生コンクリート	百万円	849
建設発生土の有効利用	千m ³	2,803

分類	品目数	分類	品目数
施工	31 品目	オフィス	22 品目
資材	26 品目	紙類	2 品目
建設機械	2 品目	文房具	17 品目
工法	1 品目	自動車	1 品目
目的物	2 品目	制服・作業服	1 品目
		エアコン	1 品目